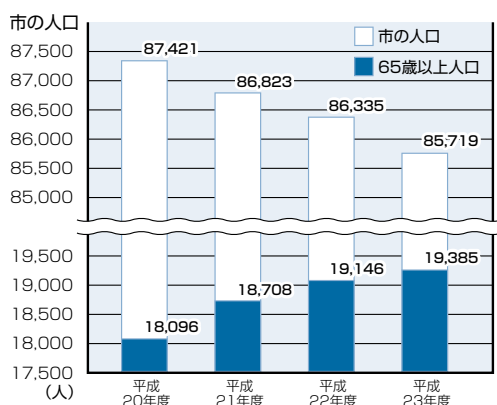


そうだ! 「ほうかつ」に相談しよう

「ほうかつって何?」そう思われる方もいるかもしれません。「ほうかつ」とは「地域包括支援センター」の略称としてよく使われています。

ここでは高齢者の現状を把握し、地域包括支援センターがどのような活動を行っているのか分かりやすく紹介していきます。



行田市の高齢者人口の移り変わり

世界一の高齢化社会、日本。本市においても高齢化が進んでおり、市の総人口が年々減少する一方で、65歳以上の高齢者が増加しています(表参照)。65歳以上の高齢者の総人口に占める割合を示す高齢化率も、本市では平成23年4月1日時点で22.6パーセントと高い値を示しています(日本の平成22年9月15日現在の高齢化率は23.1パーセント)。

高齢化社会を迎え、寝たきりの方や介護を必要とする方を抱える世帯、また、核家族化による単身世帯や高齢者のみで構成される世帯などが増加しています。

こうした状況の中、介護の問題や高齢による健康上の問題など、家族だけでは解決できないことが顕在化しています。

そんな時に、皆さんの味方になってくれるのが地域包括支援センターなのです。

本市の高齢化の現状